

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	消火活動訓練中、三連はしごに乗り移る際に受傷した事案
3. 体験した事例の中心的要素	消火活動訓練実施中、ベランダ（訓練塔2階部分）から三連はしごに乗り移るために、受傷隊員の左大腿部を補助的役割として他隊員の踏み台に使用した。乗り移るために他隊員が右足を受傷隊員の左大腿部に寄せたところ、受傷隊員の左大腿部が外側方向へ滑り、左足首剥離骨折及び靱帯を損傷したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	ベランダと見立てた訓練塔2階部分が濡れている状態であったが、普段からやっていることだとお互いの注意が散漫となっていたためと思われる。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。（延焼の広がりが思ったより早かった等）
------------------	---------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成25年9月25日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：庁舎敷地内北側訓練棟
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：滑り
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[火災]
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：消火活動訓練中の訓練塔2階部分からの脱出時
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

[illegible]

--	--	--	--

● ●

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

○心理・体調について
なにかを感じていま

a. あせりを感じていた

・早く現場到着や、活

b. 注意力が欠如していた	
---------------	--

- ・1つの事象に集中し、他の

--	--

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

普段から訓練で同じ状況をやっていたが、慣れにより注意が散漫にならないようにする。

○装備・資機材の対策について

なし

○活動環境の対策について

現場は放水等で濡れている時が多い。指差し呼称や復唱等で注意力が低下しないようにする。

○指揮・情報伝達の対策について

指揮官から客観的に見た立場で指示することで、活動隊の注意力低下を避ける。